

# 令和3年度 目黒日本大学幼稚園 自己評価票

## 〔本園の目指す幼稚園像〕

本園は開園以来、児童樂園として子どもたちの自発的活動に重きをおく自発主義を理想としてきた。本園の第一義的役割は子どもたちが心豊かに成長し、一人ひとりの個性を伸ばす、幼児期のバランスの取れた育ちへと導くことである。

## 〔特長〕

- ・様々な体験活動を通して豊かな感性を育む。
- ・人や物、環境に関わりながら好きな遊びに取り組み、質の高い幼児教育を心掛ける。

## 〔課題〕

子どもの発達と育ちの現状を捉え、個々の育ちの道筋を探ることにより、三年間の育ちに必要なカリキュラムや保育の環境を整えとともに、保育者としての保育力を高めていくことに努める。

## 令和3年度 of 取組結果

### 〔概況〕

本年度も新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、可能な限り日々の保育活動を従来の形に戻しつつある。行事などは、Zoom 配信にて保護者に子どもたちの様子を見ていただくものや、学年やクラス毎に分散して実施するものなど、内容によって変更をした。また、保育計画を早めに設定することで準備にゆとりが生まれ、情勢や本園の状況によって柔軟に保育の実施方法を変更することができ、保育者も安心して保育に専念できた。

保育者が安全を第一に考えながら、戸外での活動を十分に行い、子どもたちの興味関心のあることに対して、環境設定をしっかりと行い丁寧に一人ひとりと関わることで、子どもたちは制限がある中でも活動に対して友だち関係を深めながら、のびのびと意欲的に取り組むことができた。

評価項目	取組結果・進捗状況	達成状況
保育の計画性	日々の遊びや園生活を取り巻く環境や園行事などにおける新型コロナウイルス感染症防止策を見直しながら、可能な限り、従来の形に近づけるよう計画を立てていった。 子どもたちが興味関心を持ったことを大切に、意欲を伸ばせるような活動を取り入れ、楽しむ気持ちや諦めない心を育てるよう心掛けた。 成長して欲しい姿と現状の姿を加味しながら、月案・週案を計画的に考えた。	A
保育の在り方 幼児への対応	毎朝の視診で健康状態を把握した。また、常に一人ひとりの様子に注視して、体調面だけでなく心の面でも安定して過ごしているかを把握し、その子にあった言葉がけや援助の仕方などをするようにした。 友だち同士の関わりを増やせるように意識し、子どもの良さを互いに認められるような言葉がけをするなど、その時々への対応ができた。 時に、保育者の「こう育てて欲しい」という思いが強く前面に出てしまう場面があったため、保育についての経験や悩みなどの話し合いがしやすい環境にする必要がある。	B
保育者としての資質 や能力・良識・適正	子どもの思いや姿などを捉えながら、臨機応変に対応ができた場面が多い。 しかし、対応が難しい子どもや、保育者の手助けが必要とされる子どもに対し	B

	て、その子どもにあった声掛けなどができるようにするため、更に専門的な知識などを高めていく必要がある。そのために、保育者同士で意見交換を多くして、外部での研修会などにも参加し、保育者としての質を向上させていきたい。	
保護者への対応	保護者の多様な価値観を受け止め、寄り添う姿勢で保護者に対応をした。また、バス通園の保護者は顔を合わせる時間が少ないため、意識的に時間を見つけたり、電話を掛けたりして、子どもの様子などしっかり伝えるように努めた。個人面談などでは、保護者の表情や話している様子など観察し、保護者が聞きたいことや、心配していることなど汲み取れるよう、落ち着いた対応を意識するようにした。	A
地域の自然や社会とのかかわり	新型コロナウイルス感染症の影響により行えない行事などがあったものの、じゃがいも掘りやさつま芋掘りなどで狛江園芸の方や目黒不動尊の住職、地域ボランティアとの関わりや交流ができた。	A
保健衛生	養護教諭による手洗い指導で、手洗いの必要性を子どもたちに伝えることができた。また登園時や食事前の手指消毒など習慣化することができた。マスクの使い方や食事中などマスクを外したときの約束やマナーについて子どもへ指導を行った。	A
広報	昨年度までほぼ行事のみだったブログ配信を、クラスの活動も毎週載せるようにしたことで、普段保育を見ることのできない保護者にとっては様子を知る機会となり、更に本園に興味を持ってホームページを見てくださる方にとっては幼稚園のPRも兼ねることができた。 次年度の入園希望者に対して、YouTubeでの説明動画の配信を行った。	A
管理運営	行事毎係分担し、内容の検討や準備物の手配、必要に応じて発注など行い、職員全体への打合せを通して情報共有・運営を行った。 防災訓練について定期的に係が会議を行い実施方法の検討、職員全体への情報共有を行い月一回実施。災害時の円滑な避難マニュアルの策定、改善を行った。 備品発注について、消耗品や製作物の材料の在庫を確認し、都度必要な物を発注、在庫整理を行った。	B

※【A達成できた、B大体達成できた、Cあまり達成できなかった、D達成できなかった】

## 令和4年度の評価項目及び方策

評価項目	取組方策	取組スケジュール
保育の計画性	学年毎に今の子どもの姿を把握することで、今後の成長で必要とされる指導を考え、保育者としての経験を生かし、保育計画を行っていく。	月案・週案 職員会議
保育の在り方 幼児への対応	子どもの発達について知ること、子どもにあった環境設定を考え、健やかな成長を促していく。その為に必要となることを保育者として常に考えて行動に移していく。	学年会議 職員会議 主任会議
保育者としての資質 や能力・良識・適正	目黒区私立幼稚園協会研修会や、東京都私立幼稚園協会などの研修会へ参加する。 向上心を持ち続け、子どもたちへの最善の利益を考えた保育を心掛ける。	目黒区・東京都の研修会に準ずる
保護者への対応	情報統一や情報共有を徹底する。 保護者の言動について、きちんとした読み取りが出来るようにし、誤解が生じないよう丁寧に伝える。	朝会 報告
地域の自然や社会とのかかわり	外部の方との交流を経験することで、子どもたちが心豊かに過ごせるよう、目黒不動尊や狛江園芸などと連携をはかる。	年間行事に準ずる
保健衛生	養護教諭からの指導やアドバイスを聞き、子どもの健康面や感染対策について改善する。	保健計画予定に準ずる

広報	ホームページやブログなどの発信力の強化や見やすさなどの改善を行う。	配信時の確認 主任会議
管理運営	委員会や係など役割を決め、定期的な会議や記録会、情報共有を含め話し合いを行う。	委員会・係等会議